

延岡市の取組について（令和2年度）

1 自治体概要

- (1) 人口：116,566人
- (2) 面積：868.02km²
- (3) 小学校数：27校
- (4) 中学校数：16校

2 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制整備事業（モデル事業） における実施事業

- 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

延岡市の取組について（令和2年度）

3 多機関の協働による包括的支援体制構築事業の取組について

(1) 実施主体

延岡市（直営）

(2) 事業名

なんでも総合相談センター事業

(3) 事業実施に至った経緯

少子高齢化や核家族化・晩婚化が進み、育児と介護が同時に直面するダブルケアや高齢の親と障がいのある子が同居する8050問題など地域住民が抱える課題も複雑化・複合化してきている。

このため、従来の担当セクションごとのいわゆる「タテ割り」の支援だけでは対応が困難となり、総合的・重層的な相談窓口の設置等の包括的な支援体制の構築が必要となっており、市民からの様々な相談の対応につとめるべく「なんでも総合相談センター」を設置した。

延岡市の取組について（令和2年度）

（4）相談支援包括化推進員の配置状況

- 配置人数 5名
- 相談支援包括化推進員の経歴・保有資格等

【経歴】

小学校元校長、教育委員、養護学校、知的障がい者施設、老健施設、保育園、社会福祉協議会、相談支援専門員、障がい者支援施設、発達障がい児相談員、学習活動支援員、学校支援アドバイザー

【資格】

小中高等学校教諭、介護福祉士、社会福祉士、保育士、幼稚園教諭、准看護師、介護支援専門員

- 相談支援包括化推進員を配置している相談支援機関の名称
なんでも総合相談センター

延岡市の取組について（令和2年度）

（5）事業内容

① 包括的な相談支援体制の構築に向けた取組の概要

医療・介護・福祉・教育・子育てに関する相談やどこに相談していいのかわからないものなど、市民からの様々な相談に一括して対応するワンストップ総合相談窓口である「なんでも総合相談センター」を設置し365日開設し、市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいる。

あらゆる相談に対応するため関係各課と連携を図ることはもとより、児童相談所や警察、市内弁護士会などの関係機関とも顔の見える関係づくりを行い、連携体制の強化を図っている。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、窓口や電話による相談のほか、LINEでの相談や自宅等からのリモートによる相談にも対応できる体制も整えている。

延岡市の取組について（令和2年度）

（6）事業の成果及び課題

○ 成果

- ・ 令和2年度実績：相談件数2,996件
（平日2,257件、土日祝日年末年始739件）

○ 課題

- ・ 精神面に不安を持った方からの相談に対応できる専門職の配置が必要。